

## 特集

災害時の避難行動と  
新型コロナウイルス感染症対策

昨年10月、関東から東北にかけて大規模な台風19号と21号が猛威をふるいました。各地で河川の氾濫や土砂災害だけでなく、最大瞬間風速40メートルを超える暴風により、長期にわたり停電や断水が発生したことで、多くの人が避難所に避難しました。今年も、避難所での新型コロナウイルスへの感染が心配されており、十分な事前対策が求められます。今月号の特集では、災害発生時の基本的知識と避難所での新型コロナウイルス対策についてお知らせします。

## 自分の身を守るための「避難」

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、適切な避難行動をとってください。災害時には、危険な場所にいる人は避難することが原則です。

災害による被害をできるだけ少なくするために、一人ひとりが自ら行う「自助」、地域や身近にいる人同士が助け合う「共助」、国や地方公共団体が行う「公助」が調和することが重要です。特に、中でも重要となるのが、自分を守る「自助」です。自分が助からなければ、人を助けることはできません。

「自助」に取り組むためには、災害に備え、身の安全の守り方を知っておくことが重要です。自分を守る最も確実な方法が「逃げる」こと、すなわち「避難」です。

## 避難行動の手順

## 01 周囲の状況と避難情報の確認

まずは自宅の損傷状況と周囲の状況を確認してください。ラジオやテレビ、ホームページ等で避難に関する情報を収集してください。

町では、台風など大雨時などの災害時にはまなび

まなび手段で、災害に役立つ情報を皆様に発信しています。

町から直接発信される①～③の情報を取得するだけでなく、一般のテレビ、ラジオや④のエリアメールなどでも情報を取得して避難の判断に生かしてください。

## ① 防災行政無線

町内の18箇所に設置したスピーカーから、緊急地震速報や避難勧告等の情報を放送します。

## ② ケーブルテレビ緊急放送

ケーブルテレビのとよまチャンネル（11チャンネル）で警報の発令状況や避難所の開設状況などをお知らせします。

## ③ 豊山町安心・安全メール

防災情報、避難所開設や地震に関する情報などを配信します。（登録料は無料。ただし、メールの通信料は利用者負担）

## ▼登録方法

QRコードを読み取り、空メールを送信します（QRコードが読み取れない場合はtoyoyama@sgn.jp宛に空メール）。返信されたメールに記載されている手順に従って登録してください。

安心・安全  
メール登録用  
QRコード



## ④ 緊急速報エリアメール

携帯電話の事業者（NTTドコモ、au、ソフトバンク）が、緊急地震速報や災害・避難情報などを一斉に電子メールで配信します。詳細は各携帯電話会社におたずねください。

## ⑤ 豊山町緊急情報ツイッター

豊山町緊急情報ツイッターアカウント（@toyoyama\_kinkyu）では、防災情報等の緊急情報を発信しています。

ツイッターをご利用の方は、「豊山町緊急情報」で検索しフォローしてください。

## 02 避難するかどうかの判断

テレビやラジオ等で警戒レベルを確認したら、レベルに応じた避難勧告等が発令され次第、速やかに避難をしてください。

「災害の大きさや種類に応じて、町内の公共施設を避難所として開設します。避難所の開設状況については、01の方法で情報入手してください。」

「避難所の位置や開設基準については、ホームページや暮らしの便利帳などで確認できます。」

「自らの命は自らが守る」を原則として、防災気象情報も参考にしながら、適時適切な避難行動をとってください。

自宅と周辺の安全が確認出来たら、自宅に留まる「在宅避難」を選択することも可能です。ただし、在宅避難が可能かどうかは、災害の種類や規模によって異なります。

在宅での避難生活には家具の転倒防止対策や食料の備蓄などが重要です。

## 03 適切な方法で避難行動

災害時の避難では、避難所へ移動（水平避難）することが一般的に考えられがちです。しかし大型台風や集中豪雨時では、道路が冠水した中で屋外への移動はかえって危険な場合もあります。自宅内の高い所に移動（垂直避難）した方が安全な場合があります。警戒レベルを参考に自宅に残るべきか、避難所に避難すべきかを早めに判断することが重要です。万が一、避難が遅れ危険が迫ったときは、近くの丈夫な建物の2階以上に逃げてください。